

学位被授与者氏名	許曉璐（きょ ぎょうろ）
論文題目	漢代『太平経』における天人関係について
論文審査結果の要旨	<p>本論文は、上記の四節において、『太平経』における天人関係の究明に取り組み、『太平経』の天人思想は墨子と董仲舒の天人思想を吸収した上で、独特な「承負」説と「神仙説」でその天人相応思想を完成させたことを明らかにした。論文の全体構造は、「天」理論の構造と歴史的継承、「人」に対する認識軌跡、「天人相関」における「王」と普通の「人」のパターン違いの検討といった厳密な論理で完成された。そのため、本論文は数多くの日中両国の先行研究を取り上げ、豊富な歴史資料を駆使して論証を展開した。論文の完成度が高い。『太平経』の天人関係は、「天」と「王」との間に行う感応は董仲舒の天人思想を吸収した上で構築されたものとし、「天」と一般人との間に行う感応はその特別な神仙システムと「承負」理論に基づいて構築されたものといった結論も説得力がある。</p> <p>平成 31 年 2 月 22 日、北九州市立大学北方キャンパス 3 号館 320 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>